

(7) ファカルティ・ディベロップメント委員会

① 設置の趣旨（目的）及び組織

ア 組織設置の趣旨（目的）

ファカルティ・ディベロップメント（以下「FD」という。）委員会は、上越教育大学における教育活動の質的向上と発展を期して、FD 活動を実施することを目的としている。

イ 組織の構成及び構成員等

FD 委員会は、①教育支援高度化専攻から選出された教授又は准教授（講師及び助教を含む。以下同じ。）1 人、②教育実践高度化専攻の各領域から選出された教授又は准教授各 1 人、③その他学長が指名した者の計 12 人で構成されている。

② 運営・活動の状況

ア 委員会等の開催状況

令和 6 年度においては、以下のとおり FD 委員会を 3 回開催した。

- ・ 第 1 回 令和 6 年 6 月 12 日（水）
- ・ 第 2 回 令和 6 年 8 月 9 日（金）～22 日（木）（書面審議）
- ・ 第 3 回 令和 7 年 3 月 14 日（金）

令和 6 年度 FD 研修会及び FD 講演会の内容を検討するため、令和 6 年 7 月 3 日（水）及び 7 月 19 日～29 日（書面審議）に FD 研修会・講演会検討 WG を開催した。

イ 審議された主な事

- i) 令和 6 年度 FD 活動計画
- ii) 令和 6 年度年度計画に係る実施計画の作成
- iii) 令和 6 年度授業公開の実施
- iv) 令和 6 年度学生による授業評価の実施
- v) 令和 5 年度学生による授業評価報告書の作成
- vi) 令和 6 年度前・後期「学生による授業評価アンケート」の集計結果に基づく自己評価レポートの作成
- vii) 令和 6 年度 FD 研修会及び FD 講演会の実施
- viii) 令和 7 年度フォローアップセミナーの実施

ウ 重点的に取り組んだ課題や改善事項及び前年度の検討課題への取組状況等

- i) 令和 6 年度 FD 講演会及び FD 研修会の実施

FD 講演会及び FD 研修会については、FD 活動の一環として、本学の授業及び研究指導の内容及び方法の改善を図ることを目的として開催している。令和 6 年度は、授業における合理的配慮への理解を深めるため、令和 6 年 11 月 27 日（水）に「上越教育大学における学生への合理的配慮の提供の現状と課題」をテーマとして講演会を実施した。

また、令和 7 年 2 月 18 日（火）には「合理的配慮の必要な学生への支援」をテーマとして、研修会を実施した。

講演会には教職員 183 人が、研修会には職員及び学生等 39 人が出席した。

③ 優れた点及び今後の検討課題等

ア 優れた点

- i) 講演会の参加者からは「今回の講演は本学の状況が基本にあるのでとてもよかった。」や「実際に学生と関わる立場として、理解を深めることは大切なことだと改めて感じた。」等の、研修会の参加者からは「組織的に合理的配慮に取り組むことと、教員が取り組む教育支援の違いが明確になった。」や「教育的配慮を求める学生への対応のあり方を考え、検討する機会を得ることができた。」等の感想が寄せられた。
- ii) 学務情報システムと連携した Web 入力による授業評価アンケートシステムを実施し、引き続き、授業評価アンケートの効率的な実施及びコストの削減に寄与した。

イ 今後の検討課題

- i) Web 入力による授業評価アンケートシステムに係る回収率の向上及びシステムの充実
- ii) 授業公開における参観者数
- iii) 大学院改組に伴う「教職大学院フォローアップセミナー」のあり方